

青春ing



インターンシップで広報づくりを体験

木田 優香さん(16) ||郡町2||

勝山南高校では、2年生を対象に、市内の事業所で就労体験を行う「インターニンシップ」実習を行い、市役所でも、9名のかたを受け入れ、本

県の他に、長尾山総合公園事務所や、図書館、保育園で就労体験をしていただきました。

木田さんは、将来デザイン関係の仕事を目指し、広報紙のレイアウトなどを勉強しようと、秘書・広報課での実習体験を希望しました。

そして、3日間の実習期間で、人物取材や写真撮影などを見てはきとこなし、職場に新鮮な空気が流れました。

木田さんは、「仕事は、外見より、ずっと大変だと痛感しました。大きな声でいさつをし、日々の仕事が

楽しくなるように努力したいです。」と、目を輝かせ、素直な感想を聞かせてくれました。

部活動では、バトントワリング部に所属し、この8月に京都で開催される全国総合高校文化祭のバトンワーリング部門に出場することになります。毎日の練習に励んでいる木田さんは、笑顔のすばらしい高校生でした。

新鮮と
云うでこぼこの
夏蜜柑

福井県俳句作家協会が主催で行う春季県総合俳句大会において、炭谷さんが作られた右の俳句が、席題の部で、知事賞を受賞しました。

席題の部は、協会から選出された県の選者や県内から作品を持ち寄った163人の参加者が、気に入った作品に投票し、その得票で賞が決定します。

4月下旬に和歌山の親戚から新鮮な夏蜜柑が届き、その色や香りに感激した実感そのままの句で、「でっこ」という表現が斬新で多くのから共感を得ることができました。

炭谷さんは、「俳句があるので、人生に退屈しません。身のまわりのものに観察の目を向けることで生きている喜びを感じます。俳句を通じて友づくりができ、人生も広がりました。」と満面に笑みを浮かべ、俳句との出会いの喜びを語ってくれました。

そして、炭谷さんの句は、「新鮮な作品に出会うことができた。」と選者の評を受けました。

炭谷さんが俳句に関心を持ったのは、中学2年生の時。現在は、「弁天俳句会」に所属し、他の人の作品を詠み「広辞苑」や「日本大歳時記」を片手に切磋琢磨して勉強しています。独学では、人に分かる句は作れないとのこと。

俳句で豊かな人生を送る

炭谷 要子さん(68) ||芳野1||

そして、炭谷さんの句は、「新鮮な作品に出会うことができた。」と選者の評を受けました。

福井県俳句作家協会が主催で行う春季県総合俳句大会において、炭谷さんが作られた右の俳句が、席題の部で、知事賞を受賞しました。

席題の部は、協会から選出された県の選者や県内から作品を持ち寄った163人の参加者が、気に入った作品に投票し、その得票で賞が決定します。

4月下旬に和歌山の親戚から新鮮な夏蜜柑が届き、その色や香りに感激した実感そのままの句で、「でっこ」という表現が斬新で多くのから共感を得ることができました。

炭谷さんは、「俳句があるので、人生に退屈しません。身のまわりのものに観察の目を向けることで生きている喜びを感じます。俳句を通じて友づくりができ、人生も広がりました。」と満面に笑みを浮かべ、俳句との出会いの喜びを語ってくれました。

そして、炭谷さんの句は、「新鮮な作品に出会うことができた。」と選者の評を受けました。

出会い
ふれあい

すてきに人生



安心安全なまちづくりを

勝山市防災計画の見直し

6月28日、勝山市役所において、勝

山市防災会議が開催され、防災計画の

修正（案）が了承されました。今回の

見直しについては、昭和38年の策定後

4回目であり、一昨年の福井豪雨、今
冬の平成18年豪雪等を受けたもので
す。高齢者等災害時要援護者に対する
具体的な支援プランの整備、食糧・資
機材等の分散備蓄、豪雪時の不在家屋
対策や地域ぐるみの雪下ろし体制の整
備などを新規に加えました。

勝山市国民保護協議会発足

平成16年に施行された「武力事態等
における國民の保護のための措置に
する法律」いわゆる國民保護法に基づ
き、武力攻撃等を受けた際の避難方法
などを定める勝山市國民保護計画をつ
くるため、同日、國民保護協議会が発
足しました。今後、年度内の計画策定
を目指し、今回を含め3回の開催を予
定しています。また、会議の開催に先
立ち、山岸市長を会長に、各防災関係
機関、警察、電力事業者、商工団体の
代表ら各委員28名への委嘱式が行われ
ました。市関係以外の委員は下記のと
おりです。



防災会議と國民保護協議会の様子。
災害時や緊急時の避難・救援活動につ
いて協議されました

勝山市國民保護協議会委員

中村基一（九頭流川ダム統合管理事務
所長）

奥 敏晴（福井森林管理署長）

坪田秀隆（勝山土木事務所長）

澤田裕治（奥越健康福祉センター所長）

渡辺一夫（奥越農林総合事務所長）

野坂周一（勝山警察署長）

加藤雅博（北陸電力株奥越営業所長）

寺井孝美（西日本電信電話株福井支店
長）

久保浩光（えちぜん鉄道株運輸課長）

羽生悦夫（テラル越前農業協同組合専
務理事）

竹下治生（勝山市医師会長）

荒井由泰（勝山商工会議所会頭）

米村敏男（勝山市消防団長）

天立宣子（勝山市赤十字奉仕団委員長）



ご覧になりましたか 「暮らしのガイドブック」

皆さんの生活に關係のある補助制度や手続き、問い合わせなどを簡潔にまとめた冊子です。身近に置いて、暮らしの中でご活用ください。

【訂正】

「暮らしのガイドブック」に訂正箇所がありますので、お手数ですが修正願います。

頁	訂 正 前	訂 正 後
3	グリーンヒル上野	削除
3	(追加)	ピュークリーンお(えつ) TEL 66-6690
6	戸籍に関する届け出 午後5時15分	午後5時
8	住民の異動に関する届け出 午後5時15分	午後5時
25	社会福祉協議会☎88-5124	☎88-1177
45	狂犬病予防注射 手数料500円	550円
52	消防消防課	消防警防課

問 秘書・広報課（内線215）

昭和町2丁目の地番・戸籍の表示が変わります。 (住所の表示は変わりません)

～字地番整備事業～

国が進める登記簿等の電子化にともない、昭和町2丁目で地番を住所と関連付ける「字地番整備事業」を実施します。

この事業は、平成13年度から着手し、これまで元町1丁目、沢町、芳野町、長山町、昭和町1丁目で実施しました。今後も、順次、計画的に進めています。

新しい地番は、法務局から土地所有者に対して、来年の2~3月にかけて通知されます。また、戸籍の変更は3月ごろに予定され、作業が済み次第、市役所市民課から世帯主宛に通知いたします。

◎例として、次のように変わります。

住所	昭和町2丁目○番○号	→ 変りません
地番	勝山市○○字○番 三谷○○字○番	→ 昭和町2丁目○○○番 (住所と関連した地番)
本籍 (戸籍)	2通りの表示が あります	→ 昭和町2丁目△△△番地 → 変りません

今回の事業で、地番、戸籍の変更によって、運転免許証などを書き替える必要が生じた場合は、お手数ですが関係機関で所定の手続きをお願いします。

その際、手続きに必要な住民票については、無料で交付いたしますので、市民課にお申し出ください。

問 総務課（内線221）